

令和7年5月30日(金)

第7回高槻市学校教育審議会 資料

義務教育9年間の育ちと学びの連続性を保障する教育環境整備

～安全・安心な学校づくりに向けて～

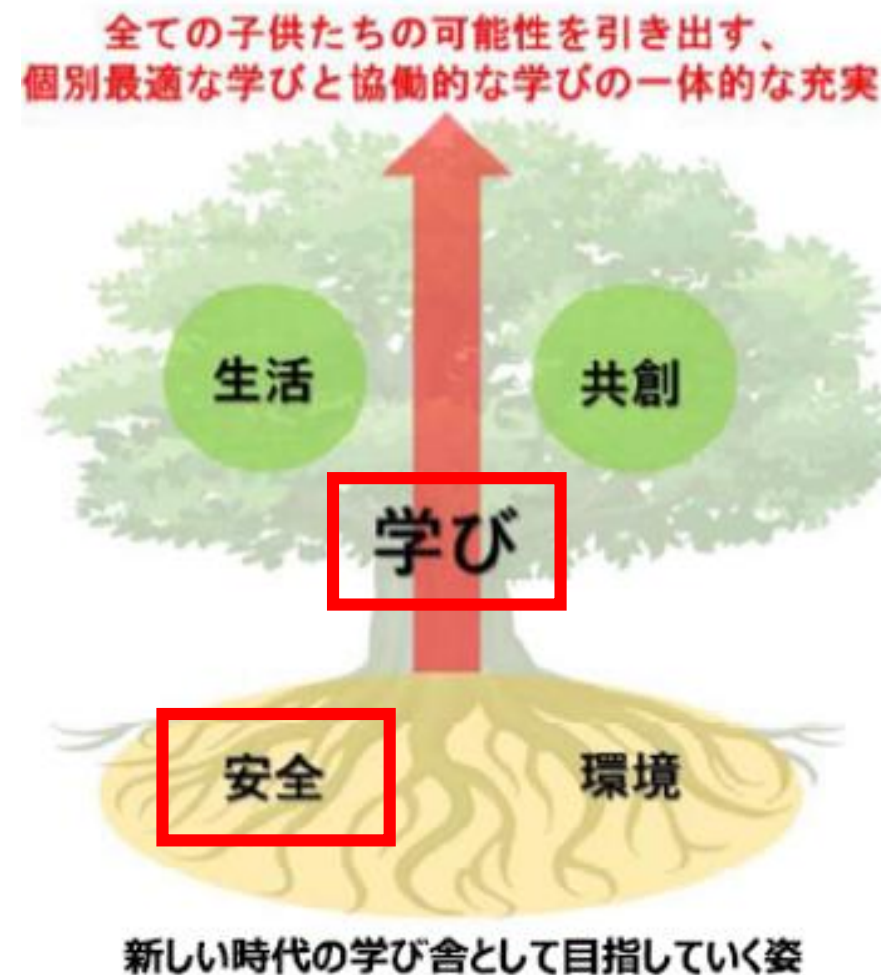
- 1 今後の児童生徒数の推移
- 2 通学距離等の地理的環境
- 3 学校施設の現状
- 4 地域の防災拠点としての機能

第6回高槻市学校教育審議会 教育次長より

「よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創る」という学習指導要領の基本理念に立ち返り、次代を担うことのできる「成熟した市民」「実力ある大人」を育成するための施策を講じていきます。

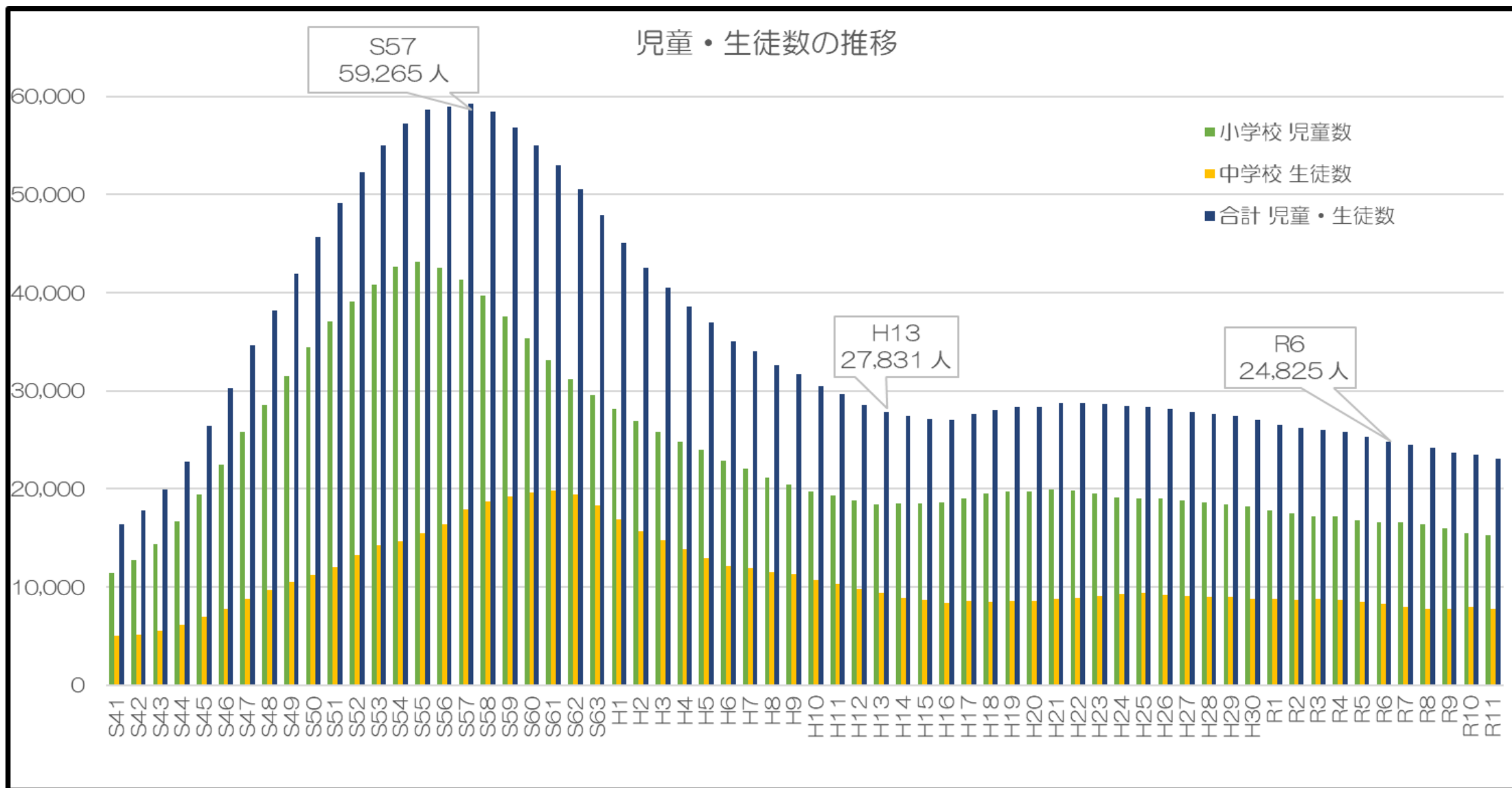
小中一貫教育をさらに推進させ、**安全・安心を基盤とした縦の接続と横の連携の強化・充実**を目指し—

これからの社会を生きる子どもたちの
より良い**学び**の実現ために、
「**安全・安心な学校づくり**」は
重要な基盤となる



今後の児童生徒数の推移

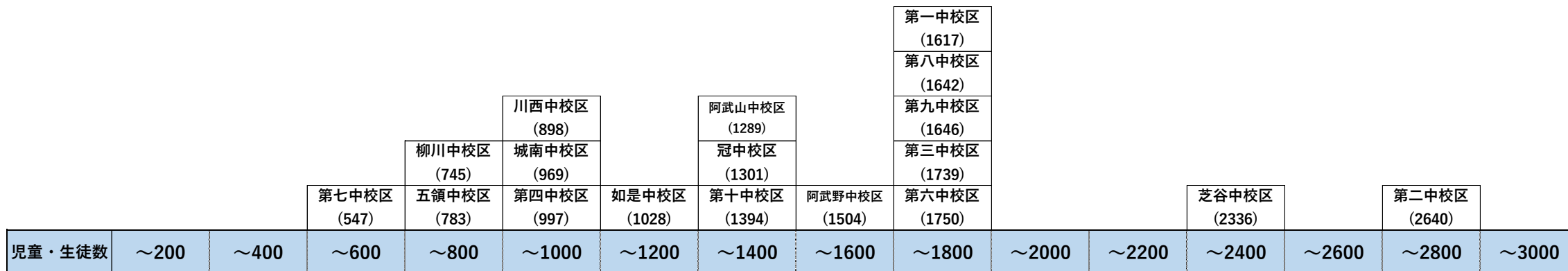
高槻市における児童生徒数の推移



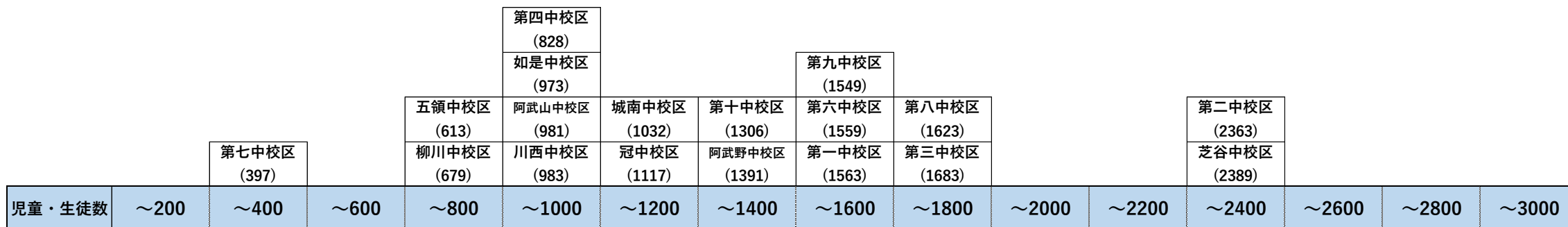
※令和6年度教育人口推計より作成（令和7年以降は推計値）

中学校区ごとの児童生徒数の推移(R6～R11)

R6 児童・生徒数



R11 児童・生徒数



※令和6年度教育人口推計より作成（令和11年の児童・生徒数は推計値）

通学距離等の地理的環境

児童生徒の通学に関わる基準等

○義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令

「通学距離が、小学校にあつてはおおむね四キロメートル以内、中学校及び義務教育学校にあつてはおおむね六キロメートル以内であること。」

○公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引

「通学時間について、「おおむね1時間以内」を一応の目安とした上で、各市町村において、地域の実情や児童生徒の実態に応じて1時間以上や1時間以内に設定することの適否も含めた判断を行うことが適当である」

各中学校区の通学路における最遠距離

- ・施設隣接型、施設分離型は通学路の変更が生じる可能性が低いいため、
現在の中学校の校地に施設一体型の義務教育学校が設置されたと仮定
- ・原則として、中学校区が一番遠い住宅地等から中学校までの道のりを測定し、
各中学校区の最遠距離の平均を算出
 - ➡ 山間地を含む中学校区を除き、平均約2kmの道のり
(山間地を含む中学校区を加えた場合、平均3.2km)
 - ➡ 山間地を含む中学校区を除き、最も遠いのは2.69km (第二中学校)

通学距離の観点に加えて、危険箇所への対応等による安全性の確保が重要

安全教育の充実



子どもたちの安全な通学に係る手立て

学校

… 安全教育、通学に係る安全指導

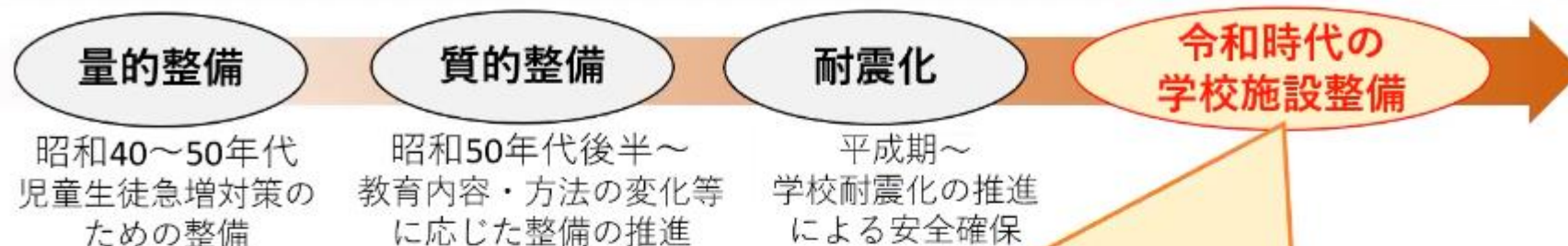
市

… 幹線通学路の指定
通学路の安全確保に係る環境整備
セーフティボランティアの確保
交通安全指導員の確保

子どもへの丁寧な安全指導を前提とし、特に、低学年の通学における危険箇所に関わる対応、身体的・心理的に支援が必要な子どもへの配慮等については、設置する校区の保護者・地域の意見を踏まえた対応策を検討する

学校施設の現状

公立学校整備に係る主な課題



学校教育（ソフト）面からの要請

- ・ 学習指導要領改訂
- ・ 個別最適な学びの実現
(GIGAスクール構想、35人学級化)

- 1人1台端末を前提とした新しい
時代の多様な学びへの対応
- 小学校35人学級化に伴って生じる
教室不足への対応

施設整備（ハード）面特有の課題

- ・ 老朽化した施設の維持・更新
- ・ 環境負荷の低減
- ・ 避難所としての役割

- 施設の長寿命化対策の推進
- 施設の省エネルギー化、太陽光
発電の導入等の脱炭素化
- 防災機能の強化

本市の学校施設

- ・昭和40年代の人口急増期に整備された築45年以上の建物が約8割
- ・老朽化対策や時代のニーズに適した教育環境の質的向上に向け、「高槻市学校施設整備方針」をもとに長寿命化を図る

長寿命化による安全・安心な学校施設整備は大前提
加えて、これからの教育に対応する学校施設の考え方を
取り込んだ教育環境を目指していく必要がある

新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方（5つの姿の方向性）

全ての子どもたちの可能性を引き出す、
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実



新しい時代の学び舎として目指していく姿

「未来思考」をもった上で、「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けて、**これからの新しい時代の学び舎として目指していく姿**を示す。

新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮するものとして、その中心となる「幹」に『**学び**』を据え、その学びを豊かにしていく「枝」として『**生活**』『**共創**』の空間を実現する。

また、新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進していく「根」として『**安全**』『**環境**』の確保を実現する。

【新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮】

学び

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、**柔軟で創造的な学習空間を実現**

- ⇒ 1人1台端末環境等に対応した机を配置し、多様な学習を展開できる教室環境の整備
- ⇒ 個別学習や少人数学習など柔軟に対応できる多目的スペース、学習支援、教育相談等の環境整備
- ⇒ 教職員のコミュニケーション・リフレッシュの場（ラウンジ）、映像編集空間（スタジオ）の整備

（教室・教室周辺の空間の改善・充実に関する創意工夫の例）



1人1台端末環境等に対応したゆとり
のある教室の整備



多目的スペースの活用による多様な
学習活動への柔軟な対応



ロッカースペース等の配置の工夫等
による教室空間の有効活用

生活

新しい生活様式を踏まえ、**健やかな学習・生活空間を実現**

- ⇒ 居場所となる温かみのあるリビング空間（小教室・コーナー、室内への木材利用）
- ⇒ 空調設備の整備、トイレの洋式化・乾式化、手洗い設備の非接触化

共創

地域や社会と連携・協働し、**ともに創造する共創空間を実現**

- ⇒ 地域の人たちと連携・協働していく活動・交流拠点として「共創空間」を創出
- ⇒ 地域の実情等に応じた他の公共施設等との複合化・共用化等

【新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進】

安全

子どもたちの生命を守り抜く、**安全・安心な教育環境を実現**

- ⇒ 老朽化対策等により、安全・安心な教育環境を確保
- ⇒ 避難所として自家発電・情報通信設備、バリアフリー、水害対策等の防災機能を強化

環境

脱炭素社会の実現に貢献する、**持続可能な教育環境を実現**

- ⇒ 屋根や外壁の高断熱化や高効率照明などの省エネルギー化、太陽光発電設備の導入の促進により、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）を推進
- ⇒ 環境や地域との共生の観点から学校における木材利用（木造化、室内利用）を推進

01 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

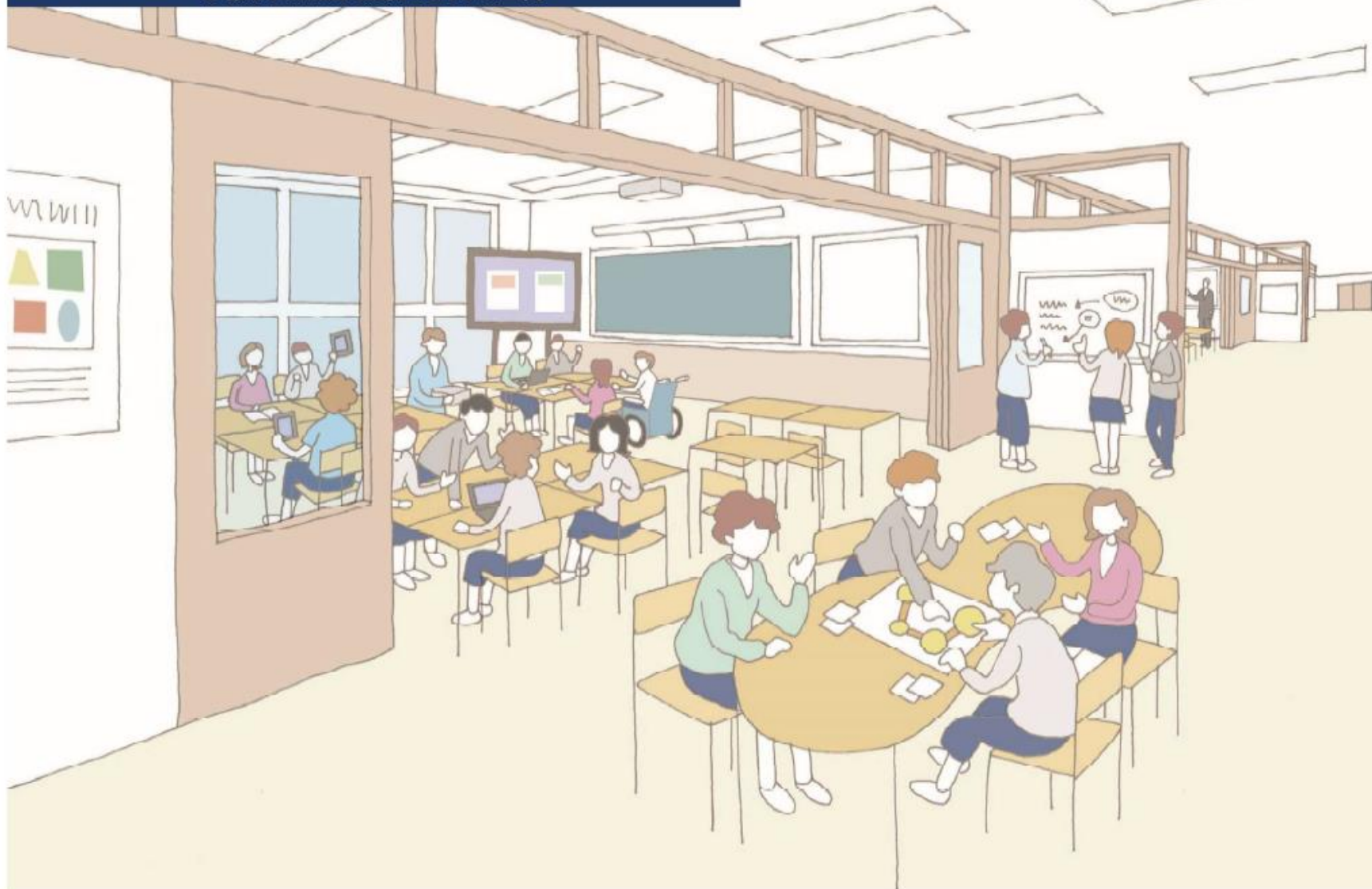
多様な学習活動を展開できる学習空間



教室空間において、紙と黒板中心の学びから、1人1台端末を文房具として活用し多様な学びが展開されていく姿

02 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

多様な学習活動を展開できる学習空間



教室空間と隣接する多目的スペースとの連続性・一体性を確保し多様な学習活動へ柔軟に対応していく姿

06 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

様々な教科等の教室の有機的な連携・分担による多様な活動の展開



学校施設全体を学びの場として捉え、階段状の空間を、ステージやプロジェクタ等を備えた発表・表現の場としていく姿



多様な学習活動を展開できる学習空間
～フラットな教室の構造～

府中市立府中学園



王寺町立王寺北義務教育学校



**多様な学習活動を展開できる学習空間
～フリースペースの柔軟な活用～**



**多様な学習活動を展開できる学習空間
～自学自習の空間～**





多様な学習活動を展開できる学習空間
～学年を超えた表現活動の場～

教室と多目的スペースの一体的構成



武蔵野市立大野田小学校

様々な話し合い

立ち姿勢での話し合い





アクティブラーニング室で他者の考えを知り、図書館で調べ、資料をまとめ、発表するが連続する空間



12 【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現する

多様な教育的ニーズのある児童生徒への対応



障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が安全かつ円滑に交流及び共同学習を行うことができるスペースを確保していく姿



**多様な教育的ニーズのある
児童生徒への対応**

王寺町立王寺北義務教育学校

**多様な教育的ニーズのある
児童生徒への対応**

豊中市立庄内さくら学園

1.5 【共創】ともに創造する共創空間を実現する

学校と地域が支え合い協働していくための共創空間



地域コミュニティの拠点として、地域や社会の人たちと連携・協働し、ともに創造的な活動ができる共創空間としていく姿



大分市立碩田学園



京都市立東山泉小中学校

学校と地域が支え合い協働していくための共創空間



学校と地域が支え合い協働していくための共創空間

豊中市立庄内さくら学園

地域の防災拠点としての機能

学校を中心とした公共施設の複合化について

複合化した公共施設の種別件数(延べ数)

文教施設		社会福祉施設		文教施設・社会福祉施設 以外の施設	
体育館	843件	放課後 児童クラブ	6870件	地域防災 備蓄倉庫	7475件
公民館	608件	児童館等	170件	給食共同 調理場	409件
図書館	75件	保育所	88件	行政機関	55件

(令和4年9月1日時点 文部科学省調べ)

18 【安全】安全・安心な教育環境を実現する

避難所としての防災機能の強化



地域の避難所として、バリアフリー化、水害対策など防災機能を一層強化するとともに、居住性等を確保していく姿

1.6 【共創】ともに創造する共創空間を実現する

多様な「知」を集積するための複合化・共用化等



他の公共施設（図書館等）との複合化・共用化を図り、多様な「知」を集積する共創空間としていく姿



豊中市立庄内さくら学園



多様な「知」を集積するための複合化・共用化等



多様な「知」を集積するための複合化・共用化等

府中市立府中学園

安全・安心な教育環境整備と子どもの「学び」

児童生徒数

多様な他者と協働し、多様な考えや価値観にふれる学習機会の保障に関わり、市民性の育成にも影響

通学路

日々の安定した学校生活に関わる安全・安心の大前提

安全・安心な教育環境整備と子どもの「学び」

学校施設

老朽化していく施設の維持、更新による安全性を確保しつつ、
これからの時代の多様な学びの在り方に対応するため、
新たな教育観を踏まえた学習環境の整備が必要

これまでの学校施設にない工夫が取り入れられることで、
多様な配慮を要する子どもへの支援や地域との協働においても
充実した対応が可能

安全・安心な教育環境整備と子どもの「学び」

地域の拠点としての機能

学校を核とした地域の教育力の向上

地域の防災拠点として活用されることによる安全教育の充実

地域の人たちとともに、実社会とつながる創造的な教育活動を展開できる可能性が拡大